



「お兄ちゃんだから我慢しなさい」の言葉をかけることがありませんか？

きょうだい間のセリフで「〇〇だけ、ずるいよ」  
 「ママは、いつも〇〇の味方ばかり」  
 「〇〇のほうが可愛いんだ」そのような声があがると、  
 子ども達のケンカや口論が増えます。  
 「お兄(姉)ちゃんだから我慢しなさい」の対応で  
 子どもたちの仲が悪くなることもあります。



	何を学んでいくか？	継続するとどうなるか？
上の子は？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弟(妹)には優しくする</li> <li>・自分は我慢する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優しい気持ちが育つ</li> <li>・人に譲ることが身につく</li> <li>・自分さえ我慢すれば解決すると思う</li> <li>・自分の希望が言えない、言わない</li> </ul>
下の子は？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お兄(姉)ちゃんは、何でも許してくれる</li> <li>・自分の主張は叶う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人に甘えることができる</li> <li>・望めば思い通りになると思う</li> <li>・我慢ができない</li> </ul>

親の「お兄ちゃんだから我慢しなさい」の言葉の裏側の思いは？



- ・優しい子どもになってほしい
- ・自分より小さい子には優しくしてほしい
- ・我慢する力をつけてほしい
- ・平等に解決してほしい 等々…

上記のようなお兄ちゃん力、お姉ちゃん力を育てていくためには、子どもにどんな生活技術を教えるか、いつ子どもがそれを身につけることができるかを決めるのは親次第です。子どもが独立心を養い、他の人と上手くやっていけるように、どういう技術が必要かを考えておくことは大切でしょう。裏のページで子育て技術を見ていきます。



## 家庭の中のルールは、家族みんなのルール

～良い行動をみんなで守りましょう～

子育て技術 **基本ルールをつくる** (子育て手帳 P.32 を参考にしましょう)

子どもには「何が期待される行動か」「どう行動すればよいか」を知るために、ここまでという限度が必要です。1つか2つのシンプルな基本ルールが役に立ちます。ルールは子どもに何をするかを教えるものです。

ルールのポイント	
・数少ないルール	1つか2つ
・公平なルール	家族全員が守る
・守りやすいルール	家族全員が守れる
・何をするという言い表わしたルール (前向きな表現のルール)	○ 車の順番はジャンケンで決める × 人の順番を邪魔しない

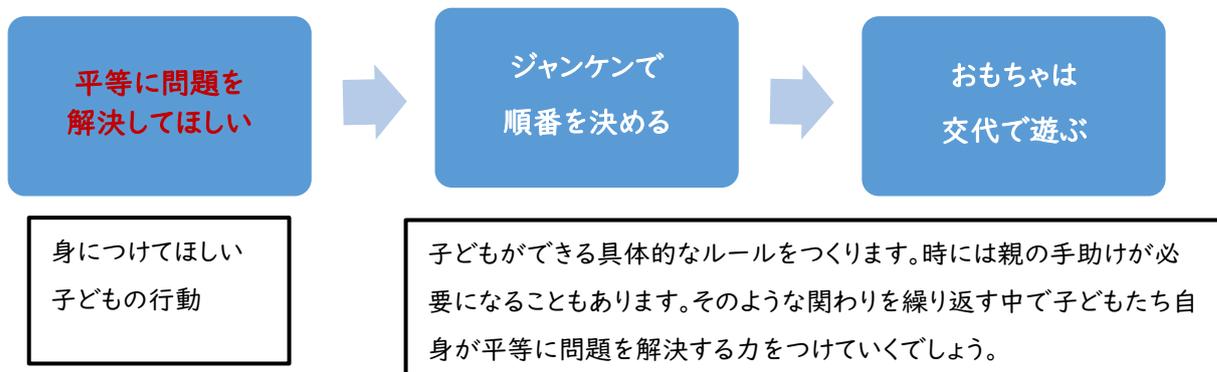


スモールステップで子どもを認めながら子どもの力を高めていきましょう。

子ども達の間で、ケンカや口論が増えてきたら、**子ども達の関係性の力を育むための機会がきた**

と捉えましょう。例えば、下の子どもにも「我慢する」「待つ」「交代」などをきょうだいで公平に教えていくのが大切になります。目標を設定する時に、「今の子ども達が守れるルール」を考えます。親が具体的に言葉で伝えて認めることで、子どもが良い行動だと理解しやすくなるでしょう。

例えば、子ども達に身につけてほしい行動が「**平等に問題を解決してほしい**」であれば、



※「子育て手帳」は、市が開催する「おはなし会」に参加いただいた時にも配布しています。



市の「前向き子育て応援事業」の情報はコチラ

■お問い合わせ 子ども未来課 子育て支援係 ☎ 28-7568

(前向き子育て 担当 石橋)

科学研究費助成事業 (責任者 福岡県立大学 江上千代美)

無断複写・複製を禁ず